

東京都新宿区北新宿1-8-16
東京土建一般労働組合
電話03 (5332) 3971 (代表)
FAX03 (5332) 3972
発行人・編集人
吉川 豊

印刷部数10万8200部

(購読料は組合費のなかに含まれています)

(年間購読料 千八百円) 定価 五十円



東京土建のホームページ <http://www.tokyo-doken.or.jp/>

自民党改憲案の内容と問題点

実質改憲とあわせて、依然明文改憲の動きも加速しています。自民党改憲案の分析、旧統一教会、改憲スケジュールの関係など、憲法学の清水教授の講演をまとめました。
(関連記事4・5面)

2023 本部新春旗開き 3年ぶりに支部と共に

困難乗り越えた奮闘を共有

軍拡許さず、平和な年に

3年ぶりに支部を呼んで対面での開催となった本部旗開きが、1月15日、ヒルトン東京の菊の間で行なわれました。全都より217人が参加しました。

冒頭、あいさつに立った中村隆幸中央執行委員長は、3度コロナで苦しみこととなった昨年を振り返りながら、制限された組合活動のなかで、仲間の窮状に寄り添う創意工夫を凝らした各支部の奮闘に感謝を述べました。そして、新たに提訴したアスベスト

そして、全建総連の奈良統一書記次長に続いてあいさつに立った東京都連の菅原良和執行委員長からは「行動なくして拡大なし、拡大なくしてありました。財政なし、財政なくして運動なし、運動なくして前進なし。14単組が一丸となって運動にまい進しよう」と呼びかけがありました。



中村委員長



墨田支部の藤川委員長

表彰代表して墨田支部へ 新たな決意に大きな拍手

東京地評の新議長、矢吹義則さんは「都も国も医療体制の脆弱さに向き合っており、現場は人材不足。政策によってこの事態が生まれていく」と述べました。

鏡開き、歓談をほさみ、檜山剛志組織部長による拡大表彰に移り、目標達成支部を代表して墨田支部が表彰されました。大きく手を振り登壇した墨田支部の藤川善清委員長は「支部一丸となって微力ながら組合の発展に力になりたい」と決意表明。会場からは大きな拍手が送られました。

■金額を見て 思わず声が出た。1月請求分の電気料金である。一目みて過去最高額であることがわかるような金額で、漏電を疑ったほどだ。しかし、よく見てみると前年同月使用量が書いてあり、さほど変化はない。調べてみると、燃料調整額なるものの値上がりであることがわかった。

■事業者H.P.によると、燃料調整額は電気料金に燃料費を反映するために「燃料費調整制度」によって定められており、それは毎月変動し、毎月の電気料金に反映されているとある。あわせて、ロシアによるウクライナ侵攻等の影響や急激な円安によって燃料価格が高騰している、との説明もあった。

「インボイス反対」作文で入賞

小平東村山 川合 綾鳳さん

中学校の課題で、インボイス反対について書いた作文が「中学生の税についての作文・税の標語」の作文部門で優秀賞に輝きました。受賞したのは、小平東村山支部の美園分会の川合和利分会長の娘さん、綾鳳(あやり)さんです。

反対したのに 賞とるなんて

なかなか難しいインボイスについて、わからないところはわかるまで調べて、自分の言葉で反対の意見を書きました。作文中では、インボイスによって中小業者が受ける影響のみならず、その必要性についても疑問を投げかけています。

綾鳳さんは現在、卓球部に所属し、放送委員の委員長も務める中学2年生。テーマ決

ます。コンクールは、多摩武蔵納税貯蓄組合連合会と東村山間税会が主催するもの。間税会は消費税等の間接税についての税知識の普及や公平な税制の実現などを目的に結成された団体、との記載があります。

受賞の率直な気持ちを聞くと、綾鳳さんは「嬉しいけど意外でした。反対したのに賞をとれるなんて」と照れながら答えてくれました。

「元請がインボイスについて全然理解していない」と苦労を語った和利さん。娘の受賞に笑顔を見せながら「作文を元請に配りたい」と話してくれました。

全都の団結を固め合うガンバロー



川合分会長と娘の綾鳳さん (右)